

2022 年度期 第 2 回理事会 議事録

日時：2022 年 4 月 9 日（日）13:00 -13:50

開催方法：オンライン

出席理事・監事：石原、稲永、樗木、笠原、佐藤、杉村、冨成、中村、南津、畠山（敬称略、以下同様）

記録者：畠山

【審議事項】

・第 1 号議案：第 1 回議事録の承認（南津）

承認された。

・第 2 号議案：会員の異動について（南津）

高畑時子氏（近畿大学工業専門学校）の 3/21 付入会（メール稟議にて承認済）および中内啓太氏の 2023 年 9 月末での退会希望の報告があり、中内氏の退会につき承認された。

・第 3 号議案：第 13 回年次大会について（南津）

2023 年の年次大会は西日本地区にて開催予定。西日本地区の会場校候補 3 校のうち、会場費が無料であること、また過去に年次大会の会場校になったことがないことから、第一候補を近畿大学とし（第二候補：大阪電気通信大学）、日程調整、開催方式（完全対面かハイブリッドか）、基調講演者等を進めていくこととなった。

・第 4 号議案：学会誌のオンライン化について（南津）

第1～2号についてはオンライン化が完了しているが、第3～8号については、原稿の細かい手直しを終えたところであり、これからアップロード作業に取りかかるとの報告があった。

・ **第5号議案：2023年度夏季セミナーについて（石原）**

セミナーの概要が以下の通り説明され、承認された。

- ・ テーマ：はじめての言語景観研究―日常の中の多文化・多言語―（仮）
- ・ 講師：猿橋順子先生（青山学院大学国際政治経済学部 国際コミュニケーション学科 教授）
- ・ 内容：言語景観研究に関するセミナーとワークショップ
- ・ 当日のスケジュール案

事前課題 → レクチャー（1h） → グループワーク（2h） → 発表と講評（1h） → 懇親会

開催場所につき、予算並びにセミナー参加者確保の観点から審議を行い、多数決の結果、鹿児島にて対面開催を第一候補として話を進めるとすることになった（鹿児島開催の場合、予算については、西日本地区と相乗りをすることで2万円を夏季セミナーの開催に回すこととなった）。

【報告事項】

・ **第1号議案：学会誌第13号（冨成）**

学会誌第13号（3月31日締切）への投稿が複数件あり、現在査読中であることが報告された。

学会誌は8月中から9月半ばに発行予定。

・ **第2号議案：ニューズレター（NL）144号（杉村）**

4月末にニューズレター第144号を発行予定。地区例会の報告や予定、夏季セミナーのお知らせなど、今号への掲載希望があれば、4月20日までに原稿の送付をお願いしたいとのことであった。

・第3号議案：経理報告（佐藤）

名誉会員5名、一般会員153名、賛助会員5名、購読会員8名（合計171名）が現在の会員数であることが報告された。未納なしの会員が110名、1年未納の会員が25名、2年未納の会員が5名、3年未納の会員が4名、4年未納の会員は1名、5年未納の会員は8名。5年未納の会員宛に督促状を送付する予定。未納額合計は、639,500円である。

・第4号議案：非会員による会員についての問い合わせ（南津）

4月上旬、非会員より、本学会の会員について個人情報や業績を問い合わせるメールが、学会事務局等に送られてきた。個人情報保護の観点や学会が個人の業績を全て把握しているわけではないため、案内できないと返信した旨、報告があった。

類似事案の発生抑止のため、HP上に「会員の情報などは個人情報保護の観点からご紹介することは出来ません」などの文言を入れておくことが提案され、承認された。

次回の理事会開催予定

7月末または8月上旬の週末に、年次大会の会場校現地視察を兼ね、対面またはハイブリッド開催を予定。

以上